

今月の内容

- ・全国の聖徒団を訪ねて(1面)
- ・各地で寺子屋開催(2面)
- ・日蓮大聖人の歩まれた道(3面)
- ・岩田先生の心も体も生き生き!(4面)
- ・おらが町の霊断師(5面)
- ・よろこび法話(6面)
- ・全国のよろこびちゃん(6面)

日蓮大聖人御降誕800年
平成33(2021)年2月16日

よろこび

聖徒のための情報誌



〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-25-11
喜助九段ビル702
九段事務所
電話 03-6272-9340
FAX 03-6272-9341
ホームページ www.yorokobi-reidanshikai.jp
よろこび投稿メール yorokobi@yorokobi-reidanshikai.jp

2017年(平成29年) 11月号

発行所 日蓮宗霊断師会連合会

会長 末吉観道
編集人 松本恵昌
購読料 1部 100円(税別)
毎月1回1日発行

全国の聖徒団を訪ねて

お寺に住むという当たり前。
しかし、その裏には沢山の支えが。
千葉県南房総市富浦町 全昌寺聖徒団(亀井教見団長)



事業円成奉告式での記念写真

全昌寺は、戦国時代の明応年間(一四九二〜一五〇一年)に成立したと伝えられて

いる。亀井団長で第三十五世となるが、お寺に伝わる資料がなく詳細な歴史は不明である。団長が入寺したのは七年前。しかし、当時東京の本山勤務をしており、自坊に帰るのには月に数回しか叶わなかった。また庫裡の風呂が壊れていたが、本山に依頼することが多いことや団長の実家が隣の館山市にあったことから、予算の都合もあり、そのままにしていた。しばらく自坊と本山を往復する多忙な日々が続いたが、入寺して二年が経とうとする時、転機が訪れた。本山の年末年始の忙しさ



新庫裡。本堂とは別棟となっている。

が一段落し、やっとお寺に帰ると、台所の天井が破れていた。状況を調べると庫裡の天井裏がハクビシンの寝床になっており、天井の薄い板がハクビシンの重さに耐えられず破れてしまったようであった。早急に対策をしたが、団長はお寺に住んで給仕しなければならぬことを痛感した。また同時期に団長の祖母の病気が判明したこともあり、九月に本山を退職、住まいを実家に移し、実家から通いながら自坊の護持に専念することとなった。



奉告式にて

その後、自身の修行と自坊の隆昌の為、荒行堂再入行を志し、全昌寺で初めてとなる帰山式を厳修、多くの檀信徒が参詣した。また、共通の友人の紹介で奥様と知り合



本堂外観

い、再行成満後に結婚、翌年には第一子が誕生した。「妻を紹介してくれた友人は私の修行時代の同級生でした。そして、私の父親も妻の父親も同じお寺の修行時代の同級生。深い縁を感じました」と団長。結婚式を終えて、いよいよ境内整備事業が始まった。役員会、檀家総会を経て、来る日蓮大聖人御降誕八百年を慶び、本堂屋根の一部改修、新庫裡の建立、諸々の境内整備等を行うこと、事業資金は寄付金の勧募及び金融機関からの融資をもって充当することが決定した。資金面の不安が大きかったが、予想を超える多くのご寄付をいただいた。そして、昨年全ての工事が終わり、お寺に住んで給仕することが叶った。「檀信徒の皆様、工事関係者の方々、家族、多くの方々の支えのおかげで、お寺に住みお給仕できるようになりました。ありがたい気持ちでいっぱいです」と団長。

事業進行中の一昨年より盛運祈願会を開始し、九識霊断法による悩み相談も始めた。少しずつお題目の輪が広がっているという。団長自身が霊断法に救われた経験から、さらなる研鑽を目指し、一級霊断師養成講習会、霊断布教研究室へと進み、本年三月に研究室を修了した。その経験を活かした今後の活躍、全昌寺の益々の発展が期待される。(通信員 原 顕良)

身軽法重死身弘法

霊断院教学部長
千葉県南房総市頸本寺聖徒団 団長 小泉 輝泰

文永元年(一二六四)十一月十一日、安房国東条の松原(現在の千葉県鴨川市)にて、小湊方面へ向かっていた日蓮大聖人が一行は、東条景信をはじめとする念仏衆らの襲撃を受けました。世に言う四大法難の一つ「小松原法難」です。この御法難では、大聖人自らも傷を負われたのは勿論のこと、お供をしていた鏡忍房、日晩上人や、急を聞いて駆けつけた工藤吉隆公も、大聖人をお守りせんとして命を落とされました。正しく末代信徒の鏡として、今尚敬われるべき殉教の二聖者です。現代に生きる私たちは、さすがに信仰の為に命を狙われ

る程の難はないかも知れませんが、しかし大切なお題目を弘め奉る為の覚悟は、いつの時代も変わりはない筈です。末法といわれ、今、信仰を持つことは決して容易ではありません。ありま

新興宗教が蔓延する社会の中で、時に誤解をされ疑いの眼差しを向けられることもあるでしょう。しかし、それに恐れをなして信仰を捨ててしまったり、先師方に顔向けが出来ません。大聖人が文字通り命を掛けて遺して下さったお題目は、人々を救うことの出来る真の、そして唯一の信仰であることを、一番よく知るのほ他でもない聖徒の皆さんです。「困っているなら、一緒に」お題目をお唱えしましょう!

「悩みがあるなら、あのお寺さんに相談してみたら」いまだ信仰を持たない人々に、勇気を持って語りかけるあなたのその一言が、また一人末法の衆生を救い、未来際までも法を弘め続けるのです。



津軽宇田山 閻法寺

毎朝 6時より「朝勤祈禱会」
毎月 最終日曜日「盛運祈願会」

〒030-1403
青森県東津軽郡外ヶ浜町平舘元宇田52-2
TEL 0174-25-2712
住 職 工藤 堯幸・副住職 工藤 堯慎

妙正寺聖徒団

パークゴルフ大会参加者

11月25日(土)午前10時
第14回清道衆信行講習会。

毎月1日午前10時 盛運祈願会

北海道妙正寺聖徒団

〒071-1423
北海道上川郡東川町東町2丁目6-3
TEL 0166(82)2714
FAX 0166(82)2914

いかされるよろこび

美濃乃國
常唱寺 聖徒団

〒501-3734
岐阜県美濃市千畝町2738-2
TEL/FAX 0575(33)1430

山本 妙頭寺
日蓮大聖人御真骨奉安

齊藤日軌貫首の著書&CD

日蓮宗の成増、その現代の意義

その現代の意義

〒327-0843 栃木県佐野市堀米町264
TEL 0283-22-1524/FAX 0283-22-4194

日蓮宗霊断師会終身名誉会長
感通寺聖徒団 団長

新聞 智雄

〒162-0044
東京都新宿区喜久井町39
TEL 03-3209-8782
FAX 03-3208-7966

全国各地で「寺子屋」開催

思いやりの心を学ぶ

宮崎県 龍雲寺聖徒団

八月二十二日宮崎県児湯郡都農町の龍雲寺聖徒団で第六回寺子屋が開催され、二十名の子ども達が参加しました。

まず最初に吉田憲由団長は、子供全員に俱生神月守を授与し着帯させ、日々の御守護の話を寺子屋が始まりました。

その後、正座の仕方や本堂での作法、あいさつの意味を説明し、「お互いを思いやる心・人の痛みがわかる心・合掌の心」の大切な心を修行を通して学んでほしい」とお話をされました。

また、子どもたちは数珠を作り、将来の夢などの想いを込めながら写経や写仏をしたあと御宝前にお供えをし、うちわ太鼓で先祖様に感謝の心を込め、夢が叶うようにお題目を唱えました。小さい体でも口を大きく開けながら唱える姿にはとても感動しました。

お昼は毎年恒例で大人気の流しそうめんやスイカ割り、絵本の読み聞かせを行いました。流しそうめんの竹などの準備は総代役員さんに何日も前から準備していたとき、とても好評です。参加した子ども達は「おしよ



うさん、また来年も来たいです。ありがとうございました」と、小さな手を振るながら山門を出て行く姿に、数時間前とは全く違い大きく成長したことが嬉しく感じた寺子屋でした。

親子ふれあい寺子屋

島根県出雲市 延福寺聖徒団

毎年恒例となっている、「親子ふれあい寺子屋」が八月二十一・二十二日、島根県出雲市延福寺聖徒団(梅木功健団長)を会場で開催された。

この寺子屋は日蓮宗島根県青年会員が中心となり開催され今年で五回目となるが、毎年たくさんのお親子が心待ちにしている大好評の行事となっている。今年も募集をして一週間ほどで定員五十名を上回る盛況ぶりであった。

この寺子屋ではお寺に縁のない人達で修行する時間もあるが、それよりもお寺に縁のない人達が、お寺との繋がりを持つてもらおうと大切にしている。そのため楽しめる取り組みを増やし大勢の家族が参加してもらえるように考えている。

今回は流しそうめん、川遊び、バーベキュー、花火などたくさん遊び、修行の部分では座禅、書写行、写仏などを行った。また、日帰りコース、お泊りコースと選択できるようにし、小さい子から大人まで幅広く楽しめるようにしている。

毎年、参加者の皆さんに、「とても楽しい」という言葉を残していただき、リピーターが数多くいる。この寺子



屋に来てくれた子ども達が大人になった時、お寺を支える人になってもらえることが一番の願いである。

二回目の開催は大盛況!

島根県 妙蓮寺聖徒団

七月三十日(日)、島根県妙蓮寺聖徒団(田平義成団長)において、昨年に続き寺子屋が開催された。晴天に恵まれた中、午前中は礼儀作法の学び、写経などを行い、午後は川とプールで遊び、映画鑑賞を楽しんだ。

二回目の開催となったが、昨年以上の参加者が集まり本堂がいっぱいに埋まることとなった。参加者は「友達とプールや川遊びをして楽しかった。初めて会ったお友達とも仲良くなれて嬉しかった」と最高の笑顔で語ってくれた。

参加者の保護者は「普段子どもとゆっくり接することができない中、思いっきりの遊ぶ子ども姿から成長が見て取れて、とても良かった。また参加したい!」と来年の開催に期待を込めた。



田平団長は「たくさんのお寺の魅力を感じてもらい、またお寺に行きたい」と思ってもらえたら嬉しい。来年も頑張って開催したい」と語り、賑やかな笑顔あふれる寺子屋となった。

第二回夏休みチビッ子道場

名古屋 本覚寺聖徒団

八月三十・三十一日、名古屋本覚寺聖徒団(伊藤守温団長)で「第二回夏休みチビッ子道場」が開催され、小学二年から中学二年までの男女七名が、親元を離れ一泊二日お寺での生活を体験した。本堂でのお参りや団扇太鼓の練習、おじいちゃんおばあちゃんへ手紙とお守り作り、夕食作りや勉強タイムなど、たくさんのお寺の楽しみを満喫した。

参加者は初対面の子もいたがすぐに打ち解け、年上の子が年下の子を見守っていた。参加者は「毎月お泊りしたい」と言うほど楽しい経験ができた様子で、参加者同士が再会できる日を待ち望んでの終了となった。



本堂でお祈り



みんなで夕食作り♪

全国の聖徒さん紹介

東京都 明鏡道場聖徒団

(一番ヶ瀬妙燈団長)

(右)尾口政幸(おぐちまさゆき)

(左)尾口登美(おぐちとみ)

空(くう) チワワ)



一番ヶ瀬上人と共に、先祖の供養と亡くなった愛犬(チワワの舞ちゃん)の供養、土地に関わる霊位の供養の為に布施餓鬼供養を始め、五年が経ちました。月守を着帯するようになって三年が経ちました。毎月、一番ヶ瀬上人がお参りへ来られる時は、

(東京北部 通信員代務 村上寿麻)

素敵な言葉が記され、可愛い封筒に入ったお手紙を持って来てくださいます。それを受け取ることが恒例の楽しみとなっています。

月守を頂くと、自分たちを支えてくれる方や、応援してくれる方が周囲には沢山いることに気づかれます。この気づかせてくれることが自分たちにとっての神様、仏様のご守護ではないかと感じます。このご守護のお蔭で、悩みがあっても六十八歳の主人と、五十四歳の私、十五歳の愛犬と東京の下町で、悪戦苦闘しながらも、前向きに過ごすことが出来ているのだと思います。

一番ヶ瀬上人の指導の下、読経を習ったり、七面山登詣をしたりと修行経験を積んでいます。今後、お陰様と感謝の気持ちをお忘れず一番ヶ瀬上人と共に頑張りたいです。

第52回全国聖徒団結集身延大会を開催

◎身延大会の感想をお寄せください



七十六聖徒団が結集

十月五日・六日、総本山身延山において、第五十二回の結集身延大会が開催された。北海道から九州各地まで全国の聖徒団が結集し、一日目は祖廟参拝と三門での唱題修行が行われ、二日目は身延山久遠寺の大本堂にて奉告式が厳修された。

昨年より十月開催となり気候も穏やかな中、日没時間に合わせて唱題修行の時間が早められ、参加者にとって無理のない参加しやすいスケジュールとなった。

※参加者のよろこびの声は十二月号で特集いたします。

一日伝道開催

十月一日、富山市利生寺聖徒団(末吉観道団長)に於いて一日伝道が開催された。盛運祈願会に併せての開催となり、本部より戸田教栄講師(本会常任理事・小田原市本典寺聖徒団団長)が出向し、約三十名の聖徒が聞法修行に励んだ。

団長上人と大学時代の同級生である戸田講師は、当時の思い出話で聖徒の笑いを誘った。学生時代より現在に至るまで縁のお話から、月守の意義や大切さをわかりやすくお話された。更に九識靈断法と合わせることに伴う修行生活の重要性も織り交ぜてお話をされ、既に月守を着帯し、九識靈断法で指導を受けている聖徒も改めて理解を深めていた。

聖徒は、終始真剣な姿勢で戸田講師の話に耳を傾け、月守と靈断法で救われた信仰体験の話では涙する聖徒の姿も見られた。

聖徒より「わかりやすく勉強になったのはもちろんで、ご任職の学生時代のお話を聞いたのは初めてで、新たな一面を見ることが出来て楽しかった」「当たり前だったが、改めて月守りや靈断の大切さを知った」などの声がかれた。



戸田教栄講師(本会常任理事・小田原市本典寺聖徒団団長)

俱生神月守の不思議

七十八歳女性

宮崎県のお寺の聖徒である七十八歳の女性は、福岡に嫁いでいった娘さんに、毎月俱生神月守を送ることが、自分と娘さんを繋いでくれるものとなりました。

その月も身延山でお経のあがった月守りがお寺に届き、三日の祈願祭で団長上人がお経を入れ、その夜に旦那さんの仏壇の前にあげて、夫婦二人の願いを込めて四日に福岡に向けてポストに投函します。毎月毎月娘さんもその温かいお守りが届くことを心待ちにしていました。

しかし今月だけは何日経っても福岡の娘さんのところに月守りが届きません。

四日程経ったときの新聞を見て、親子で驚きました。その日お守りを載せた郵便局のトラックが炎上したという記事が、新聞にはこう書いてありました「宮崎を出発したトラックが九州自動車道を登り熊本緑川パーキングエリアの手前で運転手がガタツという音を聞いた。胸騒ぎがして、いつもは立ち寄らない緑川パーキングに入って車を停車させ、車から降りたとき、車が出火し炎上したという。ほとんどの郵便物がここで全焼した。差出人は申し出てほしい」という記事が掲載されていました。



驚いている矢先福岡の娘さんの家のチャイムが鳴りました。立っていたのは郵便局員

封筒は燃えていたが、俱生神月守がしっかりと残っており、住所が確認できたので娘さんの手元に無事手渡されることになりました。

郵便局の方も「このお守りのお陰でトラックの運転手さんの命が助かったのかもかもしれません」と話されていました。

目には見えませんが俱生神様の守護の力は大きく確かについて、この出来事で改めて感謝の力が大きくなりました。

これからも肌身離さず、お守りを身に付けていきます。信仰を新たにすることがあります。

「俱生神月守って本当にありがたいですね！」

今も親子で月守りを着帯し続けています。

俱生神月守は肌守りです。

必ず肌身離さず身に付けてご守護をいただきますよ。

※お題目の神秘を伝えるために本人の承諾をうけて、掲載させていただきます。

第七十三回 日蓮大聖人の歩まれた道

立教開宗(その二)

靈断院教学部長

小泉 輝泰

「生年三十二歳にして建長五年癸丑三月二十八日、念佛は無間の業なりと見出しけるこそ時の不祥なれ。如何せん此法門を申さば誰か可用。返て怨をなすべし。人を恐て不申者佛法の怨となりて大阿鼻地獄に墮べし。経文には、末法の法華経を弘る行者あらば上行菩薩の示現なりと思ふべし。言ざる者は佛法の怨なりと佛説給へり。経文に任せて云ならば、日本国は皆一同に日蓮が敵と成べし」

(波木井殿御書)



道善房の持佛堂では、都より戻った高学の僧の講話をせひ拝聴しようと、既に堂を埋め尽く

さんばかりの大衆が集まっていた。そこには山内の僧侶や近隣の領民のみならず、公家に連なる荘園領主や帯刀をする武者たち、そして当時最も権勢を誇っていた地頭東条景信の姿までも見られます。人々の間を縫い法座へ昇る大聖人は、大衆に対し南面して座すと、やがて穏やかな言葉で話し始めました。

まずは釈尊御一代の聖教(お釈迦さまのご生涯)のすべての教えを説き示し、そして出世の本懐(お釈迦さまがこの世に出現された本当の理由)を語り進めると、聴衆はその知識の深さに感嘆し、誰一人として声を発する者もなく、瞬きをすることも忘れて大聖人の話に聞き入りました。しかしやがて大聖人の話が核心に至りはじめると、堂内の空気がまた変わりはじめたのです。

「釈尊の大慈悲の御心は、独り法華経にのみ秘されるもの也。爾前(法華経以前)の経々は未得道のみならず、信するならば地獄の業なるべし。信するべきは法華経、仰ぐべきは唯釈迦一佛と心得よ」それまでの穏やかな口調と打って

靈断法研修会を開催

九月四日より六日まで、東京・上野の覚性寺に於いて靈断法研修会が開催された。本年六月の養成講習会で新たに靈断師となつた三名を始め、遠くはアメリカ・ラスベガスよりの参加もあり、合計二十六名が靈断法の研鑽に励んだ。

参加者が今までに経験してきた靈断法の解説実習を行い、石黒泰良講師(本部靈断院靈断部長)と新聞信應講師(本部聖徒



変わり、大聖人はまさに獅子吼のごとくそう叫ばれました。これを聞いた人々の顔は見る見るうちに驚きに転じ、そして嫌悪に満ちた表情へと変わってゆくのです。

末法の苦しみの中でただ弥陀の慈悲に救いを求め続けた人々、禅を修し心身の鍛錬こそが己を高めると信じていた武家たち、皆一様に自分が信じてきたすべてを真っ向から否定され、後生には地獄に落ちべしと一蹴されたのですから、その憤りはいかほどであったでしょう。先程までの静けさが嘘のように、堂内には説者を語り怒りをぶつける怒号が響き渡りまし



部長)より丁寧なアドバイスを受けた。また、石黒講師より靈断法と祈りと感謝、新聞講師より靈断師としての自覚と実践等の内容で講義を受けた。

参加者より「今後の靈断布教に関して役立つ内容であった」「靈断師として自信が付いた」等の声が聞かれた。今回の参加者が、各自の地元で靈断布教に一層邁進することが期待できる研修会となった。



長浜市

I・Tさん 6月12日
6月号より少し内容が変わったように思います。健康なからだを維持するよう、現代風な食事の献立などクイズありで読んでいて楽しくなります。毎月、ご苦労様ですが、よろしくお祈りします。

広島市

E・Kさん 9月8日
“よろこび” 毎月拝読させて頂いております。全国の皆様の様子に触れ、いつも刺激を受けています。ありがとうございます。

愛媛県西条市

S・Yさん
拝読させて頂いています。「俱生神月守」私は免許証と共にしていました。そう言えば母は着帯していました。

8月14日

今月も健康で寺に出掛けられてうれしいです。毎月朝散歩30分位 帰りラジオ体操 そして畑や3反ほどの田んぼ 庭の草とり 仕事はつきません。出来ることに感謝です。毎日お墓にお寺参り 感謝です。

岩手県釜石市

K・Tさん 7月7日
クロスワード、数独が大好きで解けた時の喜びは言葉では表せません。

宮崎県延岡市

O・Yさん 7月19日
7月7日に5月号クロスワード当選の景品「よろこびちゃんクリアファイル」が届きました。まさか当選するなど思ってもみなかったのでも嬉しかったです。

ありがとうございました。早速使っていこうと思っています。

毎月2日に行われる盛運祈願会には欠かさずお参りさせて頂いております。

「よろこび」新聞もとても解りやすく繰り返し読み返しております。足腰の一人立ち続く限り続けたいと思っています。(現在81才です)

「よろこび」の仕事に携わる皆様のご多幸をお祈りします。

大分県杵築市 妙経寺聖徒団 後藤正軌団長 四十三才
 私は平成二十二年に霊断師となりました。それまでは御師範上人の霊断による布教を一般僧侶としての立場から傍で見ており、その指導による霊験の奇跡を目の当たりにして、きつと霊断法は凄いものに違いないと興味を持っていました。
 霊断師養成講習会に参加し霊断師となった時、その思いは確信に変わりました。
 しかしながら、私自身はもとより浅学非才の身、檀信徒の皆様への悩み・苦しみへ寄り添い、適切な指導を行う難しさも日々感じておりますが、経験と修行を積み、霊断法の力を借り布教に励みたいと考えています。
 そして、いつかは御師範上人のような、檀信徒の皆様へ全幅の信頼をおかれ、相談されるような霊断師になりたいと精進の毎日です。



■ヨコのカギ

- 1 食用にもします
- 4 山口百恵のヒット曲
- 7 まつたけレシピの一つ
- 9 杵(きね)の相棒は?
- 10 商……、紅……
- 11 高みの席。天井……
- 12 仙台銘菓。萩の…
- 14 88歳は米寿、90歳は?
- 16 栄養…。…バー。
- 18 宮城県の人気日本酒。……かすみ
- 20 恐れをいだかない心。
- 21 見えっ張り。……男
- 23 街宣行動に必須
- 24 魔よけ用に屋根の上に置きます
- 26 病原体から作った薬
- 27 過去、現在、……

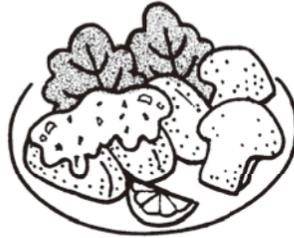
脳トレクロスワード

答					
A	B	C	D	E	F
1	2	3	4	5	6
7	A	8	9		
	10	11	B		
12	13	14	D		
16	17		18	19	
C		21	E		
23		24		25	
26		F	27		

- 【問題】A～Fを並べてできる言葉は?
- ………
- タテのカギ
- 1 松飾りとも言います
 - 2 ……で鯛を釣る
 - 3 キューバのラテン音楽
 - 4 再生紙の原料
 - 5 ライオンやトラなど
 - 6 秋の七草の一つ
 - 8 医者が住んでいない村
 - 11 スプーン
 - 13 大阪人が食い道楽なら
 - 15 京都人は?
 - 17 小魚を甘辛く煮付ける
 - 19 千人……。百万馬……
 - 20 倒木や火事……。これによる被害は甚大
 - 22 離婚後は質屋に売る?
 - 24 黒ヤギさんが食べる
 - 25 昔話「鶴の……返し」おぼれる者はつかむ?

よろこびちゃんのクッキング

サーモンフライ



- 〈作りやすい分量〉
- 生サケ1切れ、エリンギ2本、塩・こしょう各少々、小麦粉適量、溶き卵1個分、パン粉適量、揚げ油適量、A(ブルーチーズ30グラム、プレーンヨーグルト50グラム)。
- 〈作り方〉
- ①サケは4〜5等分に切り、エリンギは半分の長さにしてから縦半分に切る。塩とこしょうで下味をつける。
 - ②ポウルの上にザルを置き、キッチンペーパーを敷いてヨーグルトを乗せ、ラップをかけて冷蔵庫で30分ほど水切りをする。
 - ③キッチンペーパーでサケの水気を押さえる。サケとエリンギに小麦粉を薄くまぶし、溶き卵にくぐらせ、パン粉をまんべんなくつける。
 - ④中温に熱した揚げ油で②をカリッと揚げる。
 - ⑤ブルーチーズをフォークの背で粗くつぶし、②のヨーグルトを加え混ぜる。
 - ⑥ソースをかける。
- 実際に料理をしてみて完成写真をお送りください。(九段事務所まで)

くしきれいだんほう 九識霊断法



人生には必ず活路があります。日々の生活における悩みや不安を取り払い、満ち足りた生活の手助けとなるべく、「九識霊断法」という技術があります。信仰しているお寺にご相談ください。※完全予約制

俱生神月守をみんなで持ちましょう!

俱生神月守

毎月身延山で開眼・祈願し 皆様の聖徒団に届きます



俱生神月守

俱生神月守は、宗旨(家の宗教)に関係なく持つことができるお守で「ぐしようにんつきまもり」と読みます。

日蓮大聖人様は「乙御前御消息」の中で、「人には必ず二の天影の如くに添いて候。所謂一をば同生天(どうしようてん)と云ふ、二をば同名天(どうみょうてん)と申す。左右の肩に添いて人を守護すれば失なき者をば天もあやまつ(誤る)事なし。」

俱生神(ぐしようにん)とは、同生・同名の二人の神様を一緒に言います。人が命を宿した時にすでに守護を始めているとお釈迦様は仰っておられます。お釈迦様と日蓮大聖人様の教えの如く、いつもその人だけを守っている神なのです。

【同生天】…あなたの生命(健康)を守って下さる神さま。

【同名天】…あなたの生活(経済)を守って下さる神さま。

この二神の守護をしっかりと受けるために持つのが「俱生神月守」です。あなたの俱生神はあなただけを護ります。だれもが持つことができます。

安心・安全・幸せのために、皆で俱生神月守を持ち、家族・友人・知人にも勧めましょう。

●家族みんなで着帯しましょう…家庭円満に安心して過ごせます。

●知人の悩みにも…分かち合うことの喜びを味わえます。

●引越しや旅行の時に…方位除け・盗難除けとして。

●霊断を受けたら…まず着帯して下さい。良い結果が訪れます。

※お寺の鬼子母神様、お稲荷様等のお札・お守と一緒に持たれても結構です。

〈大切なこと〉

- お題目を信じ、唱えて下さい。
- いつも肌身離さず、俱生神月守を着帯して下さい。
- 毎月、月初めに新しい月守と必ず交換して下さい。

